



【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	守谷市
取組の名称	未就学児及び保護者への食育推進：親子クッキング
実施時期	令和2年12月
取組内容	<p>【目的】料理体験を通じ、親子の食への関心を高め児童の健全育成に寄与する。</p> <p>【対象】市内在住の4，5歳児とその保護者</p> <p>【内容】親子で楽しく作ろう！プッシュ・ド・ノエル作り</p> <p>【実施日】令和2年12月19日（土）</p> <p>【参加人数】12組24名（午前・午後）</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症により、年間5回実施する親子クッキングのうち3回が中止となった。代わりに、おやつや料理のレシピを写真と共に守谷市のホームページに掲載した。また、冬野菜の豆乳スープ、マカロニきなこの作り方を動画で紹介した。</p>

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	水戸市立第一中学校
取組の名称	校外学習
実施時期	11月6日(金)
取組内容	<p>本年度2学年では、「校外学習」の一環で「ポケットファームどきどきつくば牛久店」へ向かいました。芋掘り体験をした後、どきどきレストランにて昼食をとりました。茨城の農林水産物への興味を深め、地産地消への意識、生産者の気持ちを身近に感じ、行動で表していく気持ちを高めることを目的としました。以下のようなワークシートを用いています。農家の方の話を聞き、実際に収穫を体験し、地産地消と素材の味を生かしたレストランで残さず食べるという良い機会となりました。</p>
	  

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	ひたちなか市
取組の名称	高校生のための減塩教室
実施時期	令和2年12月24日(木)
取組内容	<p>県立那珂湊高校において、3年生を対象に若い世代からの減塩の大切さについての食育授業を実施。減塩クイズと食パンの食べ比べをした。</p> <p>減塩クイズでは、どちらの食材・料理に食塩量が多いかを当ててもらった。普段食べている食材に含まれる食塩量を比べることで、理解が深まった。</p> <p>食パンの食塩量を体験するため、無塩食パンを特注し、普通の食パンと食べ比べた。</p>
	 

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	牛久市
取組の名称	離乳食動画の作成
実施時期	5・6月中 撮影・編集 7月1日より公開
取組内容	<p>目的：新型コロナウイルス感染拡大に伴い離乳食教室を開催することが出来なくなったため、動画を用いて情報提供を行うことで、離乳食について困っているが十分な情報が得られない保護者の手助けができればと考えました。</p> <p>対象者：離乳食をこれから始める、または離乳食を始めているお子さんを持つ保護者等</p> <p>実施内容：離乳食に関する動画を撮影、編集し、ホームページとYouTubeにて公開しました。動画は、はじめての離乳食で特に困っていると思われる離乳初期のお子さんを持つ保護者へ向けて、言葉だけでは理解しにくい離乳食の作り方や食べさせ方等を中心に作成しました。あわせて離乳食の進め方についてのホームページも作成し同時に公開しました。</p> <p>(動画内容) ①離乳食作りで使用する調理器具について ②おかゆの作り方について ③野菜ペーストの作り方について ④離乳食の食べさせ方等について</p> <p>特徴：より親しみやすく感じてもらえるよう牛久市食育推進キャラクター「USHIKU 野菜オーケストラ」のパペット人形を作成し、彼等が離乳食について説明するような内容にしました。「USHIKU 野菜オーケストラ」は牛久市の食育推進のための野菜キャラクターで、牛久市で生産量が多い上位15種類の野菜キャラクターがいます。</p> <p>URL：http://www.city.ushiku.lg.jp/page/page009247.html</p>



②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	取手市立白山小学校
取組の名称	オンライン集会による食育指導
実施時期	令和2年10月12日（月）
取組内容	<p style="text-align: center;"><オンライン集会による食育指導></p> <p>○目的 児童が食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるように、「噛む」ことの大切さを理解する。</p> <p>○対象者 全児童 367名</p> <p>○形態 インターネットを活用したオンライン集会</p> <p>○内容</p> <p>① 「噛む」こと（咀嚼）の大切さについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「噛む」ことが減ってきている現代人 ・ゆっくりよく「噛む」ことの大切さ <p>② 茨城県の食べ物（地産地消の取組）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県で生産量が多い野菜や果物クイズ ・地産地消の取組（給食に使われる常陸牛等） <p>③ 2学期からの給食について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防をしながらの給食 ・安全に安心して食べる給食 <p>○ 児童の感想</p> <p>・わたしは、あまり「かむ」ということを意識しないで食べていました。でも今日お話を聞いて、ゆっくりよく「かむ」ことで健康になることやのうの発達に大切だということがよくわかりました。これからは、1口20回かむことを目標に食べたいと思います。</p>
	